

策定の趣旨（目的）

ハートプランの推進の主体は、住民、団体、関係機関、事業者、行政など、戸塚区に関わる全ての人たちです。

分野を超えた幅広い主体が、ハートプランを通じて社会情勢や地域課題、当事者の声などを共有し、併せて、当面の取組の方向性について指針を明らかにすることで、各々の役割に応じた取組を（ときには手を取りあうことで）効果的に進めることができます。

（1）すべての人が主役となるために

私たちの暮らす地域は、多様な人々により構成されています。年齢の違い、多様な性別の違い、障害の有無、国籍や人種、出身地の違いなど、“違う者同士”が、地域を形づくっています。その中でただ一つだけ言えることは、誰もが大切な一人の人間であり、地域を形づくる主役であるということです。

誰もがその違いに関わらず認められ尊重されることは、よりよいまちづくりにおいて最も大切なポイントです。

ハートプランを通して、当事者の声を共有すること、お互いを知りあいわかりあえる機会を充実させていくことが求められています。

（2）人口減少・超高齢社会への対応

戸塚区の人口は、2020年を起点とした推計では2025年をピークとして減少する見込みでしたが、減少のスピードは予測を上回り、2021年をピークにすでに減少傾向にあります。さらに、構成比では65歳以上人口の割合が高くなっていく一方、生産年齢人口（15～64歳）は減少していくと推定されています。こうした人口動態は、日々の生活や地域の営みにも様々な影響を与え、これまでに経験したことのない状況がやってくると言われています。

ハートプランを通して、地域を取り巻く状況の変化や具体的に起こりうる（起こっている）問題を共有し、幅広い主体が地域課題として捉え、それぞれの役割を果たしていくことが求められています。

（3）複合化・複雑化した生活課題への対応

近年では、80代の親がひきこもり状態にある50代の子の生活を支えるといったいわゆる「8050問題」や、親の介護と育児などが同時進行となる「ダブルケア」、本来大人が担うことが想定されている家族の介護やケア、家事などをこどもが日常的に行う「ヤングケアラー」の問題など、複数の分野にまたがる「複合化・複雑化した生活課題」を抱える人たちの存在が浮き彫りになっています。

これらの事象の多くは、個人の努力などでは解決できないことばかりです。個人や世帯単位での生活課題も、その背景も含めた地域課題として捉え、個々を取り巻く環境に変化を与えていく必要があります。

ハートプランを通して、事象の理解、幅広い主体による地域課題としての共有、必要な人に必要な支援・情報が届く仕組みづくりが求められています。

（4）様々な形で展開される“地域づくり”“つながりづくり”

一方で地域の中では、住民の思いから生まれた青少年の社会参加の場の創出や支えあいの取組、つながりづくりやまちづくりのための各種団体の取組など、インフォーマルな活動が無数に展開されています。（こうした一つひとつの取組は、ハートプランの理念に通ずるものでありながら、ハートプランがなくても展開されるものとも言えます。）

ハートプランを通して、活動する地域や領域が異なるこれらの取組について、情報発信・情報共有する仕組みを充実させることで、「知り」、「つながり」、「つながった人が参考にする」、「手を取りあって協力する」などの広がりを生みだしていくことが求められています。

(5) 各地区の歴史的経緯や背景に合わせた地区別計画

ハートプランにおける区計画と地区別計画は、「上位計画 - 下位計画」という関係ではありません。それぞれの営みが連動し支えあう関係となることを目指します。区域で展開される公的サービスや、地域を限定しない福祉サービスも、対象者の生活の全てを支えられるわけではありません。そのときに、より小さな生活圏域でのつながりなどが、セーフティーネットの網をきめ細かくすることができます。また、その逆も同様であり、地域のつながりだけでは解決できない事柄について、公的サービス等につながる仕組みづくりや、情報を持つ住民を増やしていく取組が区域で求められます。

戸塚区内 18 の地区は、それぞれに異なる歴史や背景を積み重ねてきています。また、自治会町内会活動など、普段あまり“福祉保健活動”とは捉えていない活動についても、実はハートプランの理念に資するような活動が脈々と展開されています。

ハートプランの策定・推進を、身近な地域の歴史や取組について少し立ち止まって捉え返す機会としていただき、ひいては地域への愛着を醸成する機会にしていいただければと思います。

(6) 福祉保健の分野別計画をつなぐ

横浜市では、高齢者、障害者、子ども、健康といった福祉保健の分野ごとに、目指す姿や具体的な取組などをまとめた計画を策定しています。

ハートプランは、“地域”という視点で分野別計画を横断的につなぐことで、子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無、性別や国籍の違いに関わらず、全ての人の地域生活を支えることを目指すものです。

